

津波被災地の復興まちづくり

様式2

～久之浜地区の取り組み～



いわき建設事務所 道路橋梁課
主査 渡邊 慶行

施工場所：福島県いわき市久之浜地区

1. はじめに

久之浜地区は、いわき市北東部の太平洋沿いにあり、いわき市平の中心市街地から北東へ約15km、JR常磐線久之浜駅を中心に東方に位置し、震災前は、水産業を中心に賑わいあふれたまちが形成されていましたが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により津波に襲われ、津波被災地の復興事業として、市と県が一体となって新たなまちづくり『復興まちづくり』を進めております。

2. 東日本大震災による被災状況について

被災状況
死者数 33人
全壊 210戸
半壊 60戸



全 景 写 真



久之浜駅

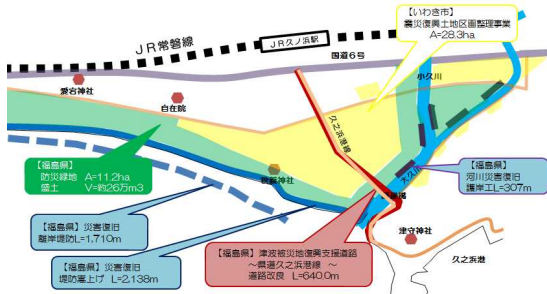


久之浜港

拡 大 写 真

3. 復興まちづくりと県の役割

復興まちづくり・・・津波被災地において道路・防災緑地・海岸保全施設・河川堤防・土地区画など、複数の手法を組み合わせた『一体的なインフラ整備』を行い、総合的な防災力が向上したまちづくり
県の役割・・・土地区画を除くインフラ整備（道路・防災緑地・防潮施設・河川堤防）



4. 復興まちづくりにおける県の目標

< 短期的 >

- ★ 被災を免れた地域住民の生活環境確保
- ★ 早期にまちづくり事業完了し、被災者の一日も早い帰還

< 中長期的 >

- ★ 将来にわたり、好感の持たれるまちづくり



5. 現場における課題と対応

実現のための取り組み（短期的）
～地域住民の生活環境を確保するために～

課題 道路通行規制の制限及び地域分断の解消
対応 ・仮設の歩道と車道の通行経路の分離など



歩行者経路
車道経路

課題 近接工事の錯綜
対応 ・近接工事の同時施工により工期短縮
・ステップ図などで視覚的な調整
・久之浜地区工事連絡協議会の設置

実現のための取り組み（中長期的）
～地域住民が豊かで魅力あるまちづくりのために～

課題 継続的に好感の持たれる道路整備
対応 将来の維持管理を見据えた『道路緑化』
・地元との意見交換を実施
・制度（うつくしまの道・サポート制度）の活用
・植樹マス設置箇所などの現地立ち会いで決定



課題 継続的に好感の持てる防災緑地
対応 地元とともに考える『防災緑地整備』
・久之浜防災緑地出前講座の実施
・防災緑地ワークショップの実施
・地元小学生による植樹の実施



課題 盛土・植樹はやめてほしい旨の地元要望
対応 定期的な説明会を開催し、必要性の理解を得た。

6. 現在の状況

平成27年12月末時点



道 路
(進捗率20%)



橋 梁
(進捗率40%)



防災緑地
(進捗率40%)

7. これからの予定

- 土地区画整理事業 <一部宅地引き渡し式> 平成28年3月24日
- 防災緑地 平成29年度 概ね完成予定
- 県道久之浜港線 平成29年度 全線供用開始予定

8. おわりに

現在、いわき建設事務所 復旧復興部は、避難者の一日も早い帰還を成し遂げるため、各自治体の職員に応援いただきながら、プロパー職員と力を合わせて、早期な事業完成を目指し進めております。震災後、長年に渡り、支援いただいていることをこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

平成30年度
久之浜地区
復興まちづくり 完了予定

